

おうえん ● 日本大学校友会・会報誌

No.11/2007.7

# 桜縁



自主創造  
日本大学

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

特集 ● **母校を離れがんばっています**

特別取材 ● 小さな微生物の大きな力 **島田 俊雄**

先輩にインタビュー ● テレビ熊本 **奥村 隆志**

連載 ● 袖すりあうも

**東京都 / 翠竹堂**

**佐賀県 / 国際観光旅館 なかます**

日大病院から

● 板橋病院 ● 駿河台病院 ● 練馬光が丘病院

こんな校友もいます

● 家具デザイナー **野木村 敦史** ● 「函館オーシャンを追って」 **小林 肇**

まだまだ修行中 ● JAみなみ信州 **木下 真由美**



新入生歓迎合宿で神奈川県南足柄市・夕日の滝を訪れた生物資源科学部・動植物研究会

## CONTENTS

<b>特集●</b>	
<b>母校を離れがんでいます</b> .....3	
道都大学 総長/櫻井 淳さん	
沖縄大学 法経学部 教授/吉川博也さん	
新潟大学 災害復興科学センター 教授/青山清道さん	
広島経済大学 教養教育部 教授/岡本貞雄さん	
<b>特別取材</b> .....8	
小さな微生物の大きな力	
(株)NS-30 研究所 代表取締役社長/島田 俊雄さん	
<b>先陣にインタビュー</b> .....10	
テレビ熊本 報道制作局/奥村 隆志さん	
聞き手 法学部/坂元 藍子さん	
<b>連載●袖すりあうも</b>	
お店紹介	
<b>東京都/翠竹堂</b> .....12	
お宿紹介	
<b>佐賀県/国際観光旅館 なかます</b> .....13	
<b>日大病院から</b> .....14	
板橋病院/駿河台病院/ 練馬光が丘病院	
支部・部会紹介.....16	
学部祭・イベント情報.....18	
<b>こんな校友もいます</b>	
家具デザイナー/野木村 敦史さん.....24	
「函館オーシャンを追って」著者/小林 肇さん.....25	
<b>まだまだ修業中</b> .....26	
JA みなみ信州 木下 真由美さん	
校友会ニュース.....27	
旬の店・話題のスポット.....30	
書籍紹介.....31	
お知らせ/掲示板.....32	

## 「桜縁」の由来

日本大学(桜)と校友の皆さんとの縁を深めるだけでなく、校友の皆さん同士の縁も大切にしたいコミュニケーション誌を目指して、「桜縁」(おうえん)と名付けました。また、校友の皆さんに母校の教育・研究活動や後輩たちの学術・文化・スポーツ活動を「おうえん」(応援)してもらいたいという意味も込められています。

本学は総合大学とはいえ、キャンパスも離れているし、なかなか相互交流が取りにくかったのですが、最近は、総合学術情報センターの通信衛星を使った遠隔授業や、単位互換制度もでき、学部間交流が深まりつつあります。校友の皆さんも卒業してから学部間交流ができるように、この会報は、年齢層はできるだけ幅広く、学部・学科の枠を超えて一人でも多くの校友の皆さんを紹介していきたいと思っています。

IT(情報技術)が発達し、インターネットのホームページや電子メールでの情報伝達が増えていますが、この会報「桜縁」を持って、紹介する校友のお店などをふらりと訪ね、自分も日大の卒業生だと話しかけてみるのも良いのではないのでしょうか。きっと日本大学の話で盛り上がり、新しい縁が生まれるはず。この会報をどんどん活用して、桜の縁が広がっていくことを願っています。



表紙の写真

学生の学術・研究・スポーツ活動を応援する目的で、本誌の表紙を学生のために広く開放し、活動発表の場にしたいと考えました。

### 新入生歓迎合宿で神奈川県南足柄市・夕日の滝を訪れた生物資源科学部・動植物研究会

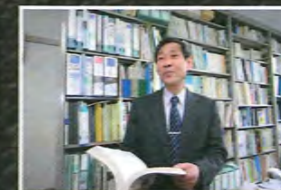
私たち動植物研究会は、今年で48年目を迎え、現在は哺乳・鳥・爬虫両棲・魚・昆虫・植物の6班が存在し会員数は50人を超えています。野外でのフィールドワークを主な活動とし、身近な湘南キャンパス周辺での生物相解明をはじめ、神奈川県内各地へ調査や生き物との出会いを求め出かけています。また、長期休暇には沖縄県西表島、長野県戸隠、長崎県対馬などで10日間程度のキャンプ生活をしながら、普段とは違う生き物との出会いを楽しみます。この動植物研究会のよさは、班の数からもわかるように様々な生き物の専門家がいて、互いが刺激しあい学びあうことで、自分の専門だけにとらわれず、生き物に対する広い視野を持つことです。今後もこのようなよさを絶やさず、自然の中で仲間と共に生き物と出会い、より深く理解していきたいと思ひます。

(生物資源科学部3年・会長 佐藤岳彦)

## 特集

# 母校を離れがんでいます

日本一の規模を誇る総合大学として、大学院20研究科、14学部、通信教育部4学部、短期大学部7学科を擁する日本大学は、学問・研究の分野でも多数の優秀な人材を輩出している。今回は、自らの道を極めるため、本学卒業後、全国各地の大学に活躍の場を移し、それぞれの地域に深く根をおろした教育・研究活動を実践しておられる4人のOBに取材した。





## 北海道

道都大学 総長

櫻井 淳さん

(昭和28年経済学部経済学科卒業)

(さくらい・じゅん) 昭和5年北海道生まれ。本学卒業後、北海道庁に入庁、教育担当を務める。29歳のとき教育事業の充実を掲げて札幌市議会議員に立候補し上位当選。北海道学芸大学(現・北海道教育大学) 職業指導研究委員などを経て教育事業を立ち上げ、39年学校法人北海道産業学園を創立。40年北海道産業専門学校、41年北海道産業短期大学創立。53年に道都大学を開学、初代学長を務める。59年同大学総長に就任。理学博士、経済学博士、法学博士、教養学博士の学位取得。平成6年藍綬褒章、12年勲二等瑞宝章受章。



本学3年在学時、経済学部正面玄関にて

### 日大精神を北海道で発揮し、社会に貢献できる人材を育てたい

道都大学は、北海道の北広島市にキャンパスを構える3学部・4学科の総合大学です。規模こそわが母校である日大には及びませんが、道内で最初に社会福祉学部を設立したり、地方大学ながら、国際世界に通用する人材を育成するため世界30数か国の大学と姉妹校の関係を結ぶなど、総合大学の名に恥じない活動を行っていると思自しているんですよ。姉妹校の大半は、これらと思った大学に私が直接手紙を送って自ら訪問し、現地で姉妹校提携の書類にサインしました。この中には、私が若い頃、コンピュータのソフトウェアに関する研究で理学博士の学位を取得したソウルのキョンヒ大学も含まれています。この大学は韓国でも3本の指に入る有名私立大学ですが、日本大学とも姉妹校の関係にあるんですね。母校を離れて長い年月が経った今でも、日大との縁をしみじみ感じます。

私が教育事業に関心を持つようになったのは、昭和28年に日大を卒業後、北海道庁で教育担当の仕事に就いたことがきっかけです。その後、道庁の職員組合の皆さんから推薦をいただいて札幌市議会議員となり、北海道学芸大学(現・北海道教育大

学)の職業指導研究委員などを歴任するうち、自分で教育事業を立ち上げる機会がめぐってきました。そのとき、理想の大学のモデルとなったのが日本大学なんですよ。日本大学の自由な雰囲気、そして「自主創造の気風をやしない、世界の平和と人類の福祉に寄与する」という建学の精神には、学生時代から共感するところがあったんです。ただ、実際に大学をつくって運営するとすると、学生は簡単に集まらないし、施設には金がかかるし、学部開設の認可はなかなか取れないし、選挙のときよりはるかに苦労しました(笑)。でも、教育の仕事には、教え子たちの成長を見守る喜びがあります。卒業生たちが社会で立派に活躍しているのを見ると、苦労が報われたと感じますね。

道都大学が掲げる建学の精神は5つ。「百折不撓の精神と奉仕の精神を重んじる人」「相手を尊敬し礼儀を重んじ誠意ある人」「専門的職業人にして且つ哲学的産業人」「ロマンに溢れた近代的社会を創造する人」「世界人類に貢献する国際人」というものです。この中には、日本大学在学中から私の頭にあったこと、職業指導の仕事をする中で学んだこと、すべてが含まれています。この精神を体現する優秀な人材をこれからも世に送り出していきたいですね。

実は、道都大学には教職員含め、約30人も日大出身者がいるんですよ。これは全国でもあまり例がないのではないのでしょうか。日本大学の精神を、この北海道の地で発揮できればと考えています。



## 沖縄

沖縄大学 法経学部 教授

吉川 博也さん

(昭和41年理工学部(現・生産工学部)経営工学科卒業、45年大学院商学研究科博士課程修了)

(よしかわ・ひろや) 昭和17年東京都生まれ。本学理工学部(現・生産工学部)経営工学科卒業後、大学院商学研究科修士課程、博士課程を修了。理工学部在学中には簿記の専門学校で会計を学び、また大学院生時代には一橋大学商学部の宮川公男教授にも師事。(財)政策科学研究所の主任研究員を経て53年筑波大学講師。57年タイ・アジア工科大学院客員教授(文部省在外研究員)。平成7年より沖縄大学経済学科教授。9年~11年には法経学部の初代学部長を務める。著書に「那覇の空間構造—沖縄らしさを求めて—」他多数。http://www.h-yosikawa.com



経営工学科の同期生たちと(本人前右から2番目)

### 沖縄だからこそメジャーに勝てる! 逆転の発想を実現するビジネスモデルを

沖縄は美しい自然に恵まれた暮らしやすい島です。しかし、経済や産業の面では本土との間に大きな格差があり、学生が就職先を見つけるのも非常に難しいんですね。この状況を打破し、若い人たちがチャンスをつかめるようなビジネスモデルをつくって沖縄の経済的自立をサポートするのが私のライフワークです。

これまで沖縄には経済的な成長を阻む3つの要素があると考えられてきました。東京などの大消費地から遠い。離島ゆえに輸送コストがかかる。スケールメリットがない。でも、今やグローバル化の時代です。東京からは遠くても、アジアの諸地域からは近いのですから、いっそアジアと連携して交易を行い、本土をマーケットにすればいい。スケールメリットが小さくても、離島でも、インターネットが普及した現代では必ずしも不利になりません。むしろ、沖縄ならではの個性は、差別化のための大きな武器となるのです。

今、就職できる会社がないということは、自分たちで会社をつくるチャンスなんですよ。沖縄だからこそ、本土のメジャー企業に勝てるという逆転の発想が大切。私は平成8年から学生と社会

人を対象にベンチャー講座を開き、彼らのビジネスを支援しているのですが、既に多くの人たちが実際に事業を立ち上げています。

私の研究は「学際的」だと評されることが多いですね。でも、研究というものは、一般論や抽象論にとどまるのではなく、具体的な問題解決の場に展開されてこそ意味があるのではないのでしょうか。

私の父は東京の小石川で印刷業を営んでいました。私は中高生の頃から、どうしたら生産を効率化できるだろうかと考えていたんです。そこで理工学部の経営工学科に進んだのですが、同時に夜は簿記の学校に通って会計を勉強しました。そして学部では笹生仁先生(当時、科学技術庁、後、生産工学部)に産業立地論、院生時代には、生産管理と会計を結びつけるユニークな研究をなさっていた中山隆祐先生のもとで学ぶかわら、「意志決定の経済学」を提唱しておられた一橋大学の宮川公男先生にも師事して、今でいうダブルスクールを実践していたんです。昔から「学際的」だったんですね(笑)。

早いもので、私が筑波大学の講師時代に沖縄振興計画の専門委員として復帰直後の沖縄を訪れてから35年、沖縄大学の教授に就任してこちらに住み始めてから12年になります。その間、与那国島を開港して台湾との航路を開いたり、那覇と中国のアモイを結ぶ航空便を開設したり、さまざまな事業のコーディネーターに携わってきました。失敗例もたくさんありますが、それもまた貴重な体験データ。沖縄型ビジネスの確立に向けて、これからが正念場です。同窓の皆さんに沖縄から、お呼び掛けをするので、ぜひホームページをご覧ください。

特集

母校を離れがんばっています



## 新潟

新潟大学 災害復興科学センター 教授

### 青山 清道さん

(昭和42年大学院理工学研究科修士課程修了)

(あおやま きよみち) 昭和17年新潟県生まれ。本学大学院理工学研究科修士課程修了後、新潟大学に赴任。43年～46年 JICA派遣専門家としてナイジェリア国立ヤバ工科大学で客員講師を務め、55年には文部省在外研究員としてカナダ・マックギル大学で雪氷研究に従事。平成14年から積雪地域災害研究センター(現・災害復興科学センター)教授。専門は地盤防災工学、雪氷工学。毎年のように海外の国際会議や各種調査に参加。地元では、(社)にいがた緑の百年物語緑化推進委員会理事、県の緑花センターで花と緑のアドバイザーとしても活躍。日本雪工学会理事。



昭和42年、福田誠氏(右端)ら同期生と那須温泉へ(本人左から2番目)

## 世界中で自然災害の傷跡を見るにつけ 緑というものの大切さを痛感します

ご存じの通り、新潟県は地殻変動の激しい、しかも積雪の多い寒冷地です。平成16年に起きた新潟県中越地震では、地震による被害だけでなく、その後の二冬続けての豪雪により、複合災害の様相を呈しました。私のライフワークは、積雪寒冷地が地震に襲われたとき、どんなことが起こるのかを綿密に調査し、さまざまな状況に応じて、被害を最小限に食い止める方法を研究することです。専門としている分野は地盤防災工学、雪氷工学ですが、自然現象だけが研究の対象ではありません。新潟県のように、山間部の過疎地を抱える地域では、災害に起因する孤立集落の発生や、避難生活の長期化にともなう高齢者へのケアにも配慮する必要があります。たとえば、平成17年の大雪では、多くのお年寄りが雪下ろしの作業中に亡くなりました。人が除雪作業をするために必要なエネルギーは、駆け足に匹敵するんですよ。身体機能の低下したお年寄りが寒い屋外で雪下ろしをするのがどれほど危険か、おわかりいただけるでしょう。

災害というのは、その後の対応を一步間違えると、二次的な災害をいっそう大きくしてしまう危険性をはらんでいます。最近で

は、事故発生時にけが人の状態を判別して搬送順を決める「トリアージ」など、災害時における医療機関との連携の大切さもようやく理解されるようになってきました。そこまで視野に入れなければ、災害復興へ向けての総合的なアプローチを行うことはできません。

私は、昭和44年にJICAの派遣専門家としてナイジェリアの国立ヤバ工科大学で客員講師を勤め、その後も機会があるごとに留学生の受け入れや、海外で災害調査の仕事に取り組んできました。そこで感じたのは、援助される側への配慮を欠いた「技術援助」は双方にとってマイナスでしかない、ということ。本当にその国の役に立つ援助を行うためには、技術者にも、専門的な知識だけでなく、現地の人々の理解が得られるような国際的視野と、あたたかい心情が必要です。ガーナのアクラで黄熱病の研究をされた野口英世博士は、今でも現地の人々に感謝されている。大いに見習うべきだと思いますね。

もともと自然が好きで土木工学を選んだのですが、調査でいろいろな土地を訪れるうち、ますます緑の大切さを感じるようになりました。緑には防災機能があるだけでなく、災害で疲弊した心身にも活力を与えてくれます。これは、毎回の災害調査で私が実感していることでもあります。最後に、私がアフリカ滞在中に感銘を受けた言葉をご紹介します。「大地を大切にしてください。それは親からもらったものではなく、子どもから借りているものだから」。



## 広島

広島経済大学 教養教育部 教授

### 岡本 貞雄さん

(昭和51年法学部法律学科卒業)

(おかもと ただひこ) 昭和27年広島県生まれ。高校時代から禅に興味を持つ。法学部在学中は、三島龍沢寺の中川宋淵老師、鈴木宗忠老師らの教えを受ける一方、本学精神文化研究所(当時)で古田紹欽教授に師事し、禅を学ぶ。師命により大正大学大学院修了(仏教学専攻)後、広陵高校教諭、正眼短期大学講師を経て平成3年広島経済大学へ。11年より教授。担当科目は東洋思想ほか。広陵高校時代には2年間野球部副部長として選手の精神面を指導、阪神の金本選手など未来のプロ野球選手5名を育てたという逸話を持つ。



本学1年在学時、下宿にて

## こんな楽しい世界はほかにない 三島での1年間は私の一番の思い出です

広島経済大学は、その名の通り経済専門の大学ですが、私のゼミでは平成7年から毎年、ゼミ生を中心に総勢約50名が参加して坐禅会を行っています。大学の研修センターで5泊6日。企画から食事まで運営面はすべて4年生が担当し、直接の坐禅指導は僧堂生活15年のベテラン和尚にお願いして、朝の4時から夜の10時まで、相当に厳しい日課をこなすというものです。また、4名の講師を招いて「いのち」に関する講演をお願いしているのも大きな特徴で、講演内容はシリーズとして出版されています。

この坐禅会は、経済優先の現代社会で「〇か×か」の選択肢しか持たない学生たちに、生きること、生かされていることの意味を考え幅の広い人間になってほしいとゼミ生に提案したのですが、学生たちは本当によくついてきてくれます。今では夏の恒例行事となっており、坐禅会後も坐禅を続ける学生が少なくありません。

ゼミではほかにも、学生たちを連れて沖縄の戦跡を徒歩でめぐり、実際に戦争を経験した方のお話をうかがうなど、戦争とは何か、いのちとは何かを自分の肌で感じられるような研修も行っています。こうした経験が、彼らの将来に少しでも役立てばと願って

おります。

私は高校生の頃に学園紛争を経験し、生徒同士がいがみあう姿を見るうち、禅に興味を持つようになりました。法律を学ぼうと法学部に進んだものの、教養部の1年間を過ごした三島は、偶然にも臨済宗中興の祖といわれる白隠禅師のお膝元。龍沢寺の中川宋淵老師を訪ねて正眼寺という清水町の小さなお寺を紹介してもらったのですが、このお寺の和尚さんご夫妻には、本当に親身していただきました。また、当時日大本部にあった精神文化研究所の古田紹欽教授には、大学2年の時から10年間、大学院生と一緒に授業を受けさせていただきました。禅の大家だった先生の教えが、私の将来を決めてしまいました。その後、私が広島経済大学に赴任して学生相談室の仕事をしたときには、運営について、心理臨床センターの嘉部和夫先生にいろいろとアドバイスをいただきました。

何よりも母校に感謝したいのは、三島で過ごした教養部の1年間が、私の人生で一番楽しい時期だったということです。受験から解放されて三島にやってきたとき、大学も町も私をあたたく迎え入れてくれました。クラス委員連絡会議、茶道部、宗教部、囲碁部…何でも好きなことができる。この喜びがあったからこそ、私は教員になりたいと思ったのです。そして今も、人生で一番楽しい時期を送っている学生たちと共に過ごすことができていることを心からありがたいと思っています。

特集

母校を離れがんばっています

## 小さな微生物の大きな力



㈱NS-30研究所  
代表取締役社長

島田 俊雄さん

(昭和39年商学部商業学科卒業)

(しまだ・としお) 昭和15年福岡県生まれ。父・徳三郎さんは福岡市で洋服店を経営し縫製工場で積極的に障害者を雇用。黄綬褒章を受章している。島田俊雄さんは本学卒業後、大手パルメメーカーに入社し、父の仕事を助けるため2年後に退社。54年父の残した遺言に従って洋服店を辞め、一般企業に就職。57年マレーシアで水処理事業に参加し、微生物と出会う。その後、九州大学農学部などで微生物を研究。環境ビジネスのベンチャー企業で成功を収めるが、平成2年に脳梗塞で倒れ、事業を閉鎖。その後再起し、㈱NS-30研究所設立。「微生物博士」として、日本各地はもちろん中国や東南アジアで有機農法のための土壌づくりやバイオトイレの製造を指導。16年SARS予防への貢献により中国栄誉市民、17年常州市科学技术大賞受賞。19年6月中国・無錫市の江南大学農学部内に佐賀大学理工学部の宮島徹教授と共同で微生物研究センターを開設。



建物右手前にある木製の小屋が研究所で実際に使用されているバイオトイレ。土中の微生物が排泄物を分解するため臭いも全く残らない。使用後はボタンを押して土を攪拌するだけ。

㈱NS-30研究所  
佐賀県三養基郡上峰町大字  
前牟田1579-1  
TEL/FAX 0952-52-3983

■土着菌はみんなのもの、企業秘密ではありません  
——島田さんは、知る人ぞ知る「微生物博士」。25年以上も微生物を研究しておられるそうですね。

私が初めて微生物と出会ったのは、昭和57年にマレーシアで工場廃液を浄化する事業に参加したときのことです。有機物を分解したり、窒素を食べたり、さまざまな働きをする微生物がいることを知って、すっかり魅了されてしまいました。自然界にはたくさんの生物がありますが、微生物は私たちの目に見えないところでがんばってくれているんですね。

微生物の有効利用といっても、遠い場所からわざわざ特別な微生物を運んでくる必要はありません。私たちの身の回りにあるごく普通の土の中にも、上手に利用してあげれば、農作物が健康に育つ良質な土壌をつくってくれる土着菌が住んでいるんです。農業などの化学物質を使わなくても、自然の摂理を大切にしながら土壌を改良したり、病気や害虫を寄せつけない作物をつくったりすることができるんですよ。ただし、微生物を使った土壌の改良は、すぐに結果が出るものではありません。農業を散布するのはほんの一瞬で済みますが、土壌が回復してきれいになるまでには何年もかかります。

——中国の常州市で実際に土壌の改良に取り組み、無農薬のブランド野菜の栽培に成功されたとか。

中国は日本よりも地域格差が激しく、私が土壌改良に協力した常州市の百丈鎮村と城湾村は、どちらも土壌が痩せていて作物の出来が悪いので、貧しい生活を強いられていました。私は平成8年に中国へ行って土壌の改良に着手し、百丈鎮村では水田を畑に変えてカボチャを、城湾村では日本から持っていった水蜜桃を栽培したのですが、最初の1、2年はなかなか結果が出ないこともあって、村の皆さんも半信半疑でしたよ。でも、一生懸命やっているうちに3年目くらいから徐々に効果が現われ、今では一流レストランで争奪戦が起こるくらい、おいしいカボチャや桃ができるようになりました。中国の農業では農業をたくさん使うという誤

解があるようですが、無農薬野菜への関心も高いんですよ。

——土着菌に関するノウハウは企業秘密なんですよね？

とんでもありません。土着菌はみんなのもの。企業秘密なんてありません。聞かれれば誰にでもお教えしますよ。中国での土壌改良にしてもお金儲けが目的ではないんです。環境問題に国境はありません。微生物の力を借りれば、環境を破壊することなく安全で栄養価の高い農作物ができることを多くの人に知っていただき、またそれを実践していただきたいと思っています。ですから、交通費と必要経費だけでギャラは一切もらっていません。こんなことをやっているから、妻に叱られてしまうんですが(笑)。

■バイオトイレ開発は、家で飼っていた犬のおかげ

——島田さんはバイオトイレの開発も行っておられますね。

バイオトイレに使った土着菌は、実は偶然に発見したものなんですよ。私の家では犬を3頭、飼っていました。糞を捨てる場所に困って庭に埋めていたんですが、ある日、いつも同じ場所に埋めているのに土の量が少しも増えていないことに気づいたんです。土の中の微生物が排泄物を分解しているのではないかと思います。さっそくその土を研究室に持って行って微生物の特定を行いました。土壌改良に使っている放線菌もそうですが、発見した菌を有効活用できるようになるまで、10年近くかかりましたよ。

微生物は生き物ですから、有用性がわかったとしても、どんな環境で育ててあげれば力を発揮するのか、他のどんな微生物と組み合わせれば相性がいいのか、時間をかけて模索しなければなりません。人間を育てるのと同じで、時間がかかるんです。

——バイオトイレはどのような仕組みなんですか？

簡単ですよ。排泄物を分解する微生物を配合した土を便器の下に容器に入れ、使用后、ボタンを押して土を攪拌すればいいんです。攪拌後、6～8時間で減容率はほぼ99パーセントに達します。研究所でも実際にこのトイレを使っていますが、汲み取りも不要で衛生的ですし、臭いもまったく残りません。同じ原理でゴ

ミ処理機も開発したんですが、魚を1匹ポンと入れておいても、数時間後にはキレイに分解されてなくなってしまうんですよ。

——あまり知られていませんが、4年前に中国でSARSが猛威をふるった際、島田さんのバイオトイレが活躍したそうですね。

中国では常州市で3年前から既に製造されており、私の名字をとってSMDバイオトイレという名前がついています。下水道も汲み取りもいらない清潔なトイレということで、世界遺産の黄山や故宮博物館などに設置されているんですが、SARSが流行したときには、北京の中央政府から常州市に連絡が入り、すぐに納入せよと指示がありました。感染者を収容する医療施設のトイレとして使われ、感染防止に役立ったと聞いています。バイオトイレが役に立ってくれて私も嬉しいですね。日本でも、災害時に役立っていただければいいのですが。

——昨年、地元のテレビ番組で、ご自身のバイオトイレが設置されている中国の黄山に登られましたが、ご感想は？

黄山は、私がぜひ一度は訪れてみたいと思っていた場所ですが、体力も衰えていますし、頂上に設置されたトイレまで登るのは大変でしたよ。最後はとうとう籠で運んでもらいました。頂上に設置されたバイオトイレをこの目で見たときには、佐賀の土がこんなところまで来たんだと思い、ついつい涙が出てきました。

私は、運命の糸に導かれて微生物に出会ったような気がします。私の父は死の間際、私に「家の仕事はやめて、南方で水と塩をやれ」と言ったんですよ。「水と塩」は、「人々が本当に必要としているもの」のことだったのではないかと、今ではそう思っています。



土着菌などの微生物は、米ぬかで増殖させる

学生が先輩にインタビューする企画です!

## 先輩にインタビュー

ある出来事がニュースとして報道されることで、  
社会の動きが変わる。だからこそ正確さが大切です

株式会社テレビ熊本 報道制作局 報道制作部

奥村 隆志さん

(昭和44年芸術学部写真学科卒業)

(おくむら たかし) 昭和21年熊本県生まれ。熊本第二高校から本学芸術学部写真学科へ。44年に卒業後、開局したばかりのテレビ熊本に入社。報道部に15年、番組制作部に5年勤務し、その後、東京支社、番組編成部などを経て、昨年11月に定年を迎え退職。本年5月1日より報道制作部の嘱託社員として再びデスクに復帰。後進たちの指導に当たっている。熊本江古田会会長。

昭和44年の4月、熊本県内で2局目の民法放送局としてスタートを切ったテレビ熊本。「TKUスーパーニュースびゅあびゅあ」など、地域情報に力を入れた番組づくりで地元の人たちに親しまれている。開局と同時にTKUに入社、報道の現場を知りつくしているベテラン報道局員の奥村隆志さんに、放送局の仕事に興味を持つ法学部4年の坂元藍子さんがインタビュー!

ニュースの現場は「あなた任せ」  
持つことも仕事のうちなんです

——奥村さんはテレビ熊本開局の年に入社されたんですね。

写真学科の卒業ですから、本当は新聞社か雑誌社に入社したかったですよ。でも、たまたま郷里に放送局ができるかと家族から聞いて、ためしに受けてみたんです。当時、日大の芸術学部から3人が試験を受け、緒方寛司という友人と私の2人が採用されました。正式に就職が決まったのは3月に入ってから。「明日から出社せよ」という電報を東京の下宿で受け取り、生まれて初めて飛行機に乗りましたよ。ちなみに、テレビ熊本にはなぜか日大芸術学部出身のOBが多く、私が会長を務めている熊本江古田会も、アート展を開催するなど盛んに活動しています。



自社制作番組「TKUスーパーニュースびゅあびゅあ」を収録中

——写真を勉強されたことは、テレビ局で報道のお仕事をなさる上でも役に立ちましたか?

スチールカメラとテレビのカメラは違いますからね。最初は勝手が違って戸惑いましたが、レンズの使い方やフレーミングなど、大学で学んだ基本的な技術は役に立ちました。でも、一番役に立ったのは、「待つのが苦にならない」こと。私は昔から風景写真が好きで、山などの自然を被写体にすることが多かったんです。自然は自分の思い通りにはなりませんから、光や天候が理想的な状態になるまで、その場でずっと待たなくては行けない。ニュースの現場も同じで、事件があると、それが解決するまでは、次に何かが起こるのをずっと待つしかないんです。まさに「あなた任せ」の仕事ですよ。忍耐力がないと動きません。

昔は、各社の記者が集まる記者クラブに行くと、匿名主みたいなベテラン記者がいましたね。ここへ行くことこんなことが起こるぞ、と駆け出しに教えてくれるんです。かと思えば、スクープのときは他社を出し抜くために同じ会社の記者を1人、ダミーでわざ

と遊ばせておいて、もう1人が特ダネを追ったりするんですよ。今は携帯電話にも写真機能がありますから、素人の方でもスクープ写真が撮れる。時代が変わりましたね。

水質汚染を番組化したのは  
風景写真の撮影がきっかけでした

——現在は報道制作部のデスクとして若い方をサポートしておられるそうですね。どのようなお仕事をなさっているのですか?

デスクの仕事は久しぶりなので、現在、出戻り研修中です(笑)。昔とはシステムも違いますし、何が違うとって、職場が静かなのに驚きました。昔はひっきりなしに電話がかかってくる、ファックスが届いたりしていたのが、今は全部パソコン1台で済みますからね。原稿も、昔は全部手書きだったのが今はパソコン。私が現在やっているのは、記者からあがってきた原稿をテレビのニュース用にまとめる仕事です。幸いにも、そのノウハウは昔から変わっていません(笑)。ですから、若い局員にいろいろと教えることもできるんです。

——記者の方が書かれる原稿とテレビ用の原稿の違いは?

自分の目で読むのと、人が読むのを聞くのは全然違います。読まれる原稿は、アナウンサーの息つきひとつで意味が全く変わってしまうこともある。私はよくアナウンサーの方に、下読みは大きな声で読んでくれと頼みますが、それを確認するためなんです。視聴者は、本や雑誌と違って読み直すことができませんから、1回で正確に伝えなければなりません。ですから、アナウンサーが正確に読みやすいよう、語順を入れ替えたりして原稿を手直しの必要があるんです。

——奥の深い世界ですね。奥村さんにとって、これまでのキャリアの中で一番印象に残るできごとは何ですか?

会社の近くに、八景水谷(はけのみや)という湧き水で有名な景勝地があります。この湧き水は市の貴重な水道の水源でもあるんですが、昭和58年に私が写真を撮りにいったとき、池のひとつが枯れていることに気づいたんですね。それで地下水の企画を立ててニュースの中で取り上げ、調べていくと水質汚染の問題に行き当たった。テクノポリス構想の時代ですから、当時の細川知事にも会い、発がん性物質が地下水を汚染していると話し



就職にあたっては「どこに就職するかより、何がやりたいのかを考えることが大切」と奥村さん。「自分で情報を発信することに興味があるなら、放送局よりプロダクションのほうがいいかも」とアドバイス。

した。そのニュースがきっかけになり、熊本でも地下水に対する環境問題への意識が高まったんですよ。

ある出来事がニュースとして報道されることで、社会の動きが変わることもあるんです。だからこそ、裏付けのある正確な情報を提供することが大切。たとえスクープを逃すことになっても、確信の持てない原稿は絶対に出さない。それが私の信念です。

——今日は貴重なお話をありがとうございました。

## インタビューを終えて

聞き手 坂元 藍子さん(法学部法律学科4年)



学生時代の事から今まで携わってこられたお仕事の話まで、本当に貴重な経験を聞かせていただきました。その中で私が強く感じた事は「その時、一瞬一瞬を大切に全力投球すること」です。奥村さんは、テレビを通してそれを表現していらっしゃいますが、私もこれから就職する上でこの気持ちを大切に、夢に向かって頑張りたいと思います。

OB・OGが経営している

## お店紹介

## 東京都/翠竹堂

末松 直介さん

(昭和46年経済学部産業経営学科卒業)

中国の陶磁から現代美術まで厳選のコレクション  
身構えず、ぜひ気軽に立ち寄ってください

古美術とモダンアートが調和する不思議な空間

書画骨董を商う店が多いことで知られる東京都・京橋界隈。大正4(1915)年創業の老舗ながら、中国の陶磁や古美術にとどまらず洋画や現代美術まで、オーナーの個性が光るコレクションで目の肥えた顧客を喜ばせているのが「翠竹堂」だ。季節ごとに展示を変える常設ギャラリーは10坪ほどの小ぢんまりとしたスペースだが、サム・フランシスの現代絵画や中国の古陶、さらには注目の新進作家による日本画など、多ジャンルの美術品がみごとに調和して独特の雰囲気を出している。

「ギャラリーは、いわばショールーム。比較的小求めになりやすい価格のものを中心にセレクトしています。展示品に興味を持ち、ほかのものも見てみたいというお客様には奥の応接室で対応します」とオーナーの末松直介さん。数百万、数千万の高額商品を扱うだけに、所蔵コレクションのすべてを展示するわけには

●プロフィール  
末松 直介

(すえまつ なおすけ) 昭和23年東京都生まれ。美術館の仕事をしてきた父親の影響で幼い頃から美術に興味を持つ。日本大学櫻丘高校から本学へ進学。高校在学中は野球に熱中し、都の決勝戦まで進んだことも。本学卒業後はルイジアナ州立大学、マイアミ大学で学び、帰国後、古美術商で修業の後、昭和58年に翠竹堂の屋号を継いで代表取締役就任。

いかない。それでも「買う、買わないに関係なく、訪れた方に“来てよかった”と思っていただけるようなムードのある展示を心がけているんです」と語る。

個人の愛好家から海外の美術館まで取引先も多様

末松さんは、本学卒業後に渡米してマイアミ大学で経営を学び、大阪と東京の古美術商で10年間にわたって修業した後、祖父の興した古美術店の屋号を継いで「翠竹堂」代表取締役に就任した。美術品の売り買いがあると聞けば世界中どこにでも出向くという忙しい毎日だが、修業時代に培った鑑定眼はもちろん、アメリカ滞在中に得た美術の知識や人脈、語学力も大いに役立っている。現在の取引先は個人の愛好家や同業者のほか、評判を聞きつけて海外のコレクターや美術館員が訪れることも。悩みの種は、「もともと美術が好き。自分がコレクターになってはいけません。思いが残り売れなくなってしまうことでしょうか」と苦笑い。「陶器や絵画のお好きな方はもちろん、家にあるものを処分したいとお考えの校友の方もぜひ声をかけてください」。



## ●翠竹堂

大正4(1915)年創業の老舗古美術店「翠竹堂」の屋号を継ぎ、昭和58(1983)年、東京・銀座コリドー街にオープン。平成15(2003)年、京橋へ移転し、現在に至る。中国陶磁を中心に、一般絵画や新陶も扱っている。  
【営業時間】月～金10:00～18:00  
【定休日】土・日・祝日  
【交通】都営浅草線宝町駅、地下鉄京橋駅から徒歩約3分  
【住所】東京都中央区京橋3-9-7  
TEL 03-5250-0023 FAX 03-5250-7182  
【URL】http://www.suichiku.ecnet.jp

## ◎一口メモ

東京で「骨董通り」といえば、まず思い浮かぶのは港区青山。だが、実は日本橋から京橋にかけて多くの古美術店が軒を並べる中央区の「骨董通り」のほうが歴史は古い。きっかけは、戦前、この地域に進出した企業の応接室や重役室に飾る古美術品へのニーズが高まったこと。現在でも、約150店の古美術店が、それぞれに個性のあるコレクションで訪れる人の目を楽しませている。皆さんも、ぜひ足を運んでみては?

OB・OGが経営している

## お宿紹介

佐賀県/武雄温泉 国際観光旅館  
なかます

田中 隆一郎さん

(昭和52年芸術学部演劇学科卒業)

豊かな自然に恵まれた焼き物と出湯の里で  
ゆったりと流れる時間を楽しんでください

なめらかな肌あたりが男女を問わず人気

「肥前風土記」にもその名が記されている佐賀県の武雄温泉は、日本でも有数の古湯のひとつ。江戸時代には長崎街道の宿場町として栄え、宮本武蔵や伊達政宗が入浴したという記録も残されている。「なかます旅館」のご主人、田中隆一郎さんの先祖がこの地で温泉宿を開いたのも江戸時代半ばのこと。旅館のロビーの一角には、初代柿右衛門の赤絵香炉や古伊万里の大鉢など貴重な所蔵品が展示され、老舗の歴史を物語っている。

「この宿は私で7代目になります。武雄温泉の湯はなめらかな肌あたりで「美人の湯」ともいわれていますが、老若男女を問わず誰が入っても本当に気持ちがいいし、湯冷めもしません。小さい頃から仲間を集めては風呂で遊んでいましたよ(笑)」。

自慢の大浴場「朋來の湯」は、天然石の床に檜造りの浴槽をしつらえた落ち着いた空間で、窓からは庭園の緑も楽しめる。ジ

●国際観光旅館  
なかます

【施設】客室:35室/大浴場:「朋來の湯」/浴場:「桜の湯」(ジェットバス付)朝・夕男女入れ替え/宴会場:大広間(150名まで)  
/駐車場:20台  
【交通】お車で:長崎自動車道武雄北方ICより約10分  
鉄道で:JR佐世保線武雄温泉駅より徒歩約3分  
【住所】佐賀県武雄市武雄町大字武雄7377  
TEL 0954-22-3118 FAX 0954-22-4917  
【URL】http://www.nakamasu.co.jp

## ◎一口メモ

武雄温泉のシンボルといえば朱塗りの楼門と武雄温泉新館。設計したのは東京駅の設計で知られる辰野金吾氏。田中さんの曾祖父にあたる宮原忠直氏が辰野氏に建築を依頼し、大正4年に完成した。

＜読者への特典＞  
宿泊のお客様に元湯の  
入浴券をサービス  
(「日大出身」と言って下さい)

●プロフィール  
田中 隆一郎

(たなか りゅういちろう) 昭和30年佐賀県生まれ。長崎日大高校から本学へ。大学時代は演劇を専攻。「旅館という舞台を自分で演出してみよう」という父のひとことで家業を継ぐ決心を固める。長男の隆一郎さんは今年本学国際関係学部を卒業、次男の良直さんは本学芸術学部1年に在学中という日大ファミリー。武雄温泉旅館組合組合長が役職多数。

ェットバス付きの「桜の湯」は女性客や家族連れに好評だ。さらに、希望があれば他の旅館の浴場に入ることもできるとか。

「せっかく武雄にいらしたのなら、いろいろな雰囲気味わってほしいですね。鍋島公のために造られた江戸時代の殿様湯など、珍しいお風呂もたくさん残っているんですよ」。

「がばいばあちゃん」のロケ隊も佐賀牛に大満足

玄海灘や有明海で獲れる新鮮な海の幸に加え、全国的に有名な佐賀牛など、武雄温泉は良質な食材にも恵まれている。

「料理はもちろんですが、米と水にこだわった、おいしいご飯も自慢です。昨年、『佐賀のがばいばあちゃん』のロケ隊の皆さんをおもてなしたんですが、ご飯と佐賀牛には特にご満足いただけたようですね」と田中さん。今後の目標は「愛する地元のためにいろいろなアイデアを出して、より多くの皆さんに武雄温泉のよさを知っていただくこと」。最近、マイクロバスでホテルを見に行くミニツアーも人気とか。歴史と文化の出湯は、これからますますおもしろくなりそうだ。



庭園の緑を眺めながら入浴できる「朋來の湯」

## 患者さんのために 最善の医療と環境を

本学医学部の前身である専門部医学科に、臨床医育成のための教育病院が誕生したのは大正14年のこと。以来、時代のニーズに応じた改革を経て、各病院が大学や大学院での研究成果を活かし、地域に密着した医療活動を行っています。最近のトピックスとともに、看護の現場で働く看護師さんの声を紹介しましょう。



### 医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町30-1

☎03-3972-8111(代)

<http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/itabashi>

#### 病院トピックス 睡眠センターの開設について

最近の統計によれば、わが国の全成人の5人に1人が不眠に、7人に1人が睡眠不足による日中の眠気(過眠)に、30人に1人が睡眠時無呼吸症候群による過眠症状に悩まされているとされています。当病院では、特に睡眠時無呼吸症候群の診断と治療に早くから取り組み、国内トップクラスの実績を誇っており、平成19年4月に睡眠センターを開院いたしました。最近、「よく眠れない」、「昼間眠くて仕方ない」等睡眠障害でお悩みの方は、健康な睡眠を取り戻すために総合的に診断・治療が可能な当睡眠センターへおいでください。なお、詳細につきましては、板橋病院ホームページをご覧ください。

#### 看護の現場から

### 患者さんの心に寄り添う看護を



中山 美咲さん

(なかやま みさき) 平成17年、医学部附属看護専門学校卒業。同年板橋病院に入職。脳神経外科病棟勤務。

担当はずっと脳神経外科です。この科の患者さんは言葉で気持ちを伝えられない状態の方が多いので、ちょっとした変化も見逃すことができず、最初はとても緊張しました。自分の知識・技術や気持ちが届かず、悩んだこともありましたが、先輩の看護師や先生方に支えられ、少しずつですが理想とする看護に近づくことができましたと思います。大変な職場だけに熱い心を持った先生や看護師が多く、絆がとても強いんですよ。今後はさらに経験を積み、患者さんの心にもっと寄り添えるような看護師になれるように頑張っていきたいと思っています。

### 駿河台日本大学病院

東京都千代田区神田駿河台1-8-13

☎03-3293-1711

<http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/surugadai>

#### 病院トピックス 物忘れ外来を開設

平成19年1月、精神神経科に物忘れ外来を開設しました。従来より外来診療の一環としてアルツハイマー病、脳血管性認知症、老年期うつ病などの老年期精神障害に取り組んでまいりました。高齢社会を迎えて外来を訪れる認知症患者さんが増加しており、なかでも軽度の物忘れを主訴とし、うつ病の初期との鑑別が困難な症例が目立っております。物忘れ外来の対象は、軽度の物忘れ(良性健忘)から中等度の認知症です。とりわけ軽度の物忘れ以外に顕著な行動異常もなく、正常と異常の境界領域に属する患者さんの早期診断に力を入れております。本学関係者で日常の物忘れで苦慮されている方がおりましたら、あらかじめお電話のうえ、ぜひご来院ください。

#### 看護の現場から

### 看護師の成長が支える「ケアの深さ」



東 めぐみさん

(ひがし めぐみ) 昭和55年、医学部附属看護専門学校卒業後、58年まで駿河台病院に勤務。その後、埼玉県立大学、日本赤十字大学ならびに同大学院などで学び、平成15年、駿河台病院に復帰。教育担当責任者、成人看護(慢性)専門看護師。昨年、We are up for self-medication Awardを受賞。

子育てが一段落し、新人時代にお世話になった駿河台病院に復帰して今年で4年目。現在の私の職務は、ひとりひとりの看護師の成長を助ける教育担当の仕事と、成人看護の専門看護師として週に1回行っている糖尿病の看護外来です。看護師にとっては日々の何げないケアも、患者さんにとっては大きな意味を持っています。清拭ひとつとっても、看護師自身が成長することによってケアの深さが全く違って来ますよ。実践を通じ、若い看護師たちの成長のプロセスに直接かかわることは、私にとって大きな喜びです。

### 医学部附属練馬光が丘病院

東京都練馬区光が丘2-11-1

☎03-3979-3611

<http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/hikari>

#### 病院トピックス マザーケア外来を開設

平成19年4月、マザーケア外来(助産師外来)を開設しました。快適なマタニティライフを過ごし、不安なく分娩に臨め、その後の育児につなげることを目的とする、保健指導中心の外来です。週2回、水曜日と金曜日に予約制で行っております。水曜日は病棟所属の助産師、金曜日は外来所属の助産師が交替で担当しており、外来、病棟の継続看護の効果も視野に入れております。開設して1か月、現状としては1日1~2人と決して盛況ではありませんが、受診された方には大変喜んでいただいております。受診された患者さんの多くは、やはり乳房管理(母乳育児)に対する関心が高く、私たちも皆様の期待に応えられるよう、励んでおります。

#### 看護の現場から

### 患者さんからの信頼が何よりの喜び



橋爪 あさみさん

(はしづめ あさみ) 平成13年、医学部附属看護専門学校卒業。同年練馬光が丘病院に入職。外科系病棟勤務を経て、現在は内科系病棟に勤務。

今年の4月から内科病棟の担当になりました。最初に配属された外科系と違い、内科の場合は慢性疾患で長く入院しておられる方が多いので、小さなストレスのサインも見逃さずに対応できるよう心がけています。患者さんが心を開いて話をしてくださったときなど、信頼していただけたんだな、と心から嬉しくなりますね。この病院は、私が看護学生だった頃、実習でお世話になった病院なんですよ。先輩たちの姿に憧れ、ぜひここで仕事がしたい!と思ったんです。今度は私が学生たちを指導できるよう、成長していきたいですね。



## 日本大学 松戸歯学部同窓会



松戸歯学部同窓会創立30周年記念式典

日本大学松戸歯学部は昭和46年、時の歯学部長、第六代総長、鈴木勝先生が中心となられ創立され、同窓会は昭和52年の卒業の第一期生107名の会員によりその歴史がスタート致しました。爾来、30年、平成18年に同窓会創立30周年記念事業を行い、卒業生総数も昨年度、歯学部の約半数にあたる4,500名に達しました。

歯科界には歴史と伝統のある日本大学歯学部の先輩方が多数おられ、日本歯科医師会会長の久保満男先生はじめ、中央歯科界、都道府県、郡市区会において枢要の部分を担当されていますが、松戸歯学部の卒業生は全国津々浦々において、歯学部の先生方と密接な連携の下に地域医療、地域保健に従事し、同窓会においても校友として連帯の下に活動しております。

本同窓会は30周年を迎え、1期生から15期生が40代から50代半ばという年齢にさしかかり、働き盛りの元気の良い会員ばかりですが、歯科界を取り巻く環境は必ずしも芳しくなく、同窓会活動に時間を割く機会が減りがちなのが悩みの種であります。

近年、歯科医学の発展は益々目覚ましく、母校学部や会員の協力を



新井 謙寿会長



得ての学術講演会の開催、或いは「日大口腔科学会」への参加も含めて、卒後研修の機会を提供すべく企画、運営に同窓会活動の力点をおいております。

また、例年9月開催の「日本大学医療系学部校友会学術講演会」にも当初より参加し、総合大学として、他学部校友会との連携、情報の共有という観点からもこの事業の発展を願い、更に、日本大学校友会の一支部として、母校日本大学、並びに本部校友会の益々の発展に寄与して参りたいと考えております。

(日本大学松戸歯学部同窓会会長 新井 謙寿)

## 日本大学校友会 青森県支部

青森県支部は、諸先輩の皆様のご苦勞が実り名実共に県支部として結成されて以来、丁度平成元年に40周年記念事業の一環として、第2回目の会員名簿が発刊されております。

その際、日本大学の当時の柴田理事長から色紙「大志」を頂戴する等ご協力をいただきました。衷心より感謝申し上げます。

活動状況の中で特筆すべきものは、日本大学創立百周年記念事業協賛金が全国支部中第3位の成績をあげ、平成6年に感謝状の贈呈を受けております。又、平成12年には日大フェア青森が青森市で開催され、大学のPRに何がしかの貢献をしたのではないかと考えております。このほか、平成7年2月には校友の知事(木村守男氏)が誕生し、副知事(故・山内善郎氏)と2人の校友が青森県政に多大な貢献をされておられます。

さて、平成19年度も年中行事の大きな一つとしての定例総会が5月20日(日)午後1時30分から青森市(ラ・プラス青い森)において開催されました。ご来賓として大学から石井進副総長、本部から校友会会長・田中英壽常務理事、事務局から生田孔介庶務課課長補佐、東北六県からは山形県原子支部長、宮城県深松副支部長、岩手県元持支部長、本県関係では木村守男前知事、清藤六郎元県議会副議長、山内正孝、工藤慎康県議会議員外多数のご臨席を賜り、錦上花を添えていただきました。奈良青森県支部長のもとで総会議事は滞りなく終了し、引き続き田村文人校友による「よろず歯の話」と題する講話を拜聴した後、懇親会場に移動して記念写真の撮影を行いました。続いで懇親会では勲章受章者、県褒賞受賞者をお祝いし、元応援団長のリードで応援歌「花の精鋭」を大合唱しながら同窓の絆を感じ、より一層の親睦を深めることができました。この灯をたやすことなく来年又再会できるよう祈念し、又、支部が今後益々発展充実するよう皆様のご協力をご支援をお願いしながら支部の紹介とさせていただきます。

(日本大学校友会青森県支部幹事長 佐々木権四郎)



奈良 豊規支部長



平成19年度 青森県支部総会・懇親パーティー

# 平成19年度学部祭開催日程

サークル、ゼミなどが日頃の活動成果を発表する展示、人気アーティストを招いてのコンサート、著名人による講演会など、イベントが盛りだくさん。久しぶりに母校の学部祭見学をかねて、キャンパスに足を運んでみてはいかがでしょうか。



# イベント情報

(写真提供 日本大学新聞社)

6月以降の保健体育審議会所属各部の試合日程をお知らせします。  
 詳しい日程や会場未定の試合もありますので、  
 詳しくは保健体育事務局(電話03-5275-8279)までお問い合わせください。



競技部	日付	大会名	場所	
陸上競技部	6/29 ~ 7/1	日本選手権大会	大阪府	長居陸上競技場
	10/8	出雲全日本大学選抜駅伝	島根県	出雲市内
	11/4	全日本大学駅伝対校選手権大会	愛知県・三重県	熱田神宮~伊勢神宮
	1/2 ~ 1/3	東京箱根間往復大学駅伝競走	東京都・神奈川県	大手町~芦ノ湖
水泳部	6/29 ~ 7/1	日本選手権大会(水球)	東京都	東京体育館屋内プール
	8/3 ~ 8/5	日本選手権大会(飛込)	大分県	別府市営青山プール
	9/7 ~ 9/9	日本学生選手権大会(競泳)	東京都	辰巳国際水泳場
	9/1 ~ 9/3	日本学生選手権大会(飛込)	福島県	郡山カルチャーパークプール
野球部	9/21 ~ 9/24	日本学生選手権大会(水球)	神奈川県	相模原市立総合水泳場
	9/1 ~	東都大学秋季リーグ戦	東京都	神宮球場
ボート部	7/6 ~ 7/8	JapanCup全日本軽量級選手権大会	埼玉県	戸田ボートコース
	8/12 ~ 8/13	東日本選手権大会	〃	〃
	8/23 ~ 8/26	全日本大学選手権大会	〃	〃
	10/19 ~ 10/21	全日本新人選手権大会	〃	〃
柔道部	6/23 ~ 6/24	全日本学生優勝大会	東京都	日本武道館
	7/7	東京都ジュニア体重別選手権大会	〃	東京武道館
	9/2	東京学生体重別選手権大会	〃	日本武道館
	9/8 ~ 9/9	全日本ジュニア体重別選手権大会	埼玉県	埼玉県立武道館
	10/13 ~ 10/14	全日本学生体重別選手権大会	東京都	日本武道館
	11/3 ~ 11/4	全日本学生体重別団体優勝大会	兵庫県	尼崎総合体育館
剣道部	11/17 ~ 11/18	講道館杯・全日本体重別選手権大会	千葉県	千葉ポートアリーナ
	9/16	関東学生優勝大会	東京都	日本武道館
	9/22	関東女子学生優勝大会	〃	東京武道館
	10/28	全日本学生優勝大会	〃	日本武道館
	11/18	全日本女子学生優勝大会	愛知県	愛知県武道館
	12/1	関東女子学生新人戦大会	東京都	東京武道館
相撲部	12/8	関東学生新人戦大会	〃	〃
	7/1	東日本学生女子相撲選手権大会	東京都	日本大学八幡山総合体育館
	7/15	全日本大学選抜七尾大会	石川県	七尾市営愛宕山相撲場
	7/29	東日本学生個人体重別選手権大会	東京都	靖国神社相撲場
	8/14	全国選抜社会人学生弘前大会	青森県	青森県武道館

競技部	日付	大会名	場所	
相撲部	8/16	全日本大学選抜十和田大会	青森県	十和田市相撲場
	9/9	全日本大学・実業団刈谷大会	愛知県	刈谷市体育館特設相撲場
	9/15 ~ 9/16	東日本学生リーグ戦	東京都	靖国神社相撲場
	9/23	全国学生個人体重別選手権大会	〃	〃
	10/21	全日本女子相撲選手権大会	大阪府	堺市大浜公園相撲場
	11/3 ~ 11/4	全国学生選手権大会	東京都	国技館
弓道部	11/11	全国大学選抜高知大会	高知県	春野総合運動公園相撲場
	12/9	全日本選手権大会	東京都	国技館
	8/7 ~ 8/8	全日本学生選手権大会	東京都	日本武道館
	9/16 ~ 10/21	東京都学生1部リーグ戦	〃	加盟校各校道場
卓球部	11/23 ~ 11/25	全日本学生王座決定戦	三重県	伊勢神宮弓道場
	11/23 ~ 11/25	全日本学生女子王座決定戦	〃	〃
	7/4 ~ 7/7	関東学生選手権大会	東京都	駒沢オリンピック公園屋内球技場・体育館
	8/2 ~ 8/5	全日本大学対抗選手権大会	兵庫県	尼崎市記念公園総合球技場
	8/16 ~ 8/17	全日本学生選手権・関東地区予選会	東京都	駒沢オリンピック公園屋内球技場・体育館
	9/3 ~ 9/7	秋季関東学生リーグ戦	〃	代々木第2体育館
馬術部	10/18 ~ 10/21	全日本学生選手権大会	愛知県	愛知県体育館
	10/29 ~ 10/31	会長杯争奪大会	東京都	駒沢オリンピック公園体育館
	12/2 ~ 12/3	全日本学生選抜選手権大会	神奈川県	横浜文化体育館
	6/21 ~ 6/25	関東学生三大大会	東京都	JRA馬事公苑
	7/27	全日本ジュニア馬場大会	静岡県	御殿場市馬術スポーツセンター
	8/2 ~ 8/5	全日本ジュニア障害選手権大会	山梨県	山梨県馬術競技場
自転車部	9/8 ~ 9/10	全日本総合大会	〃	〃
	10/6 ~ 10/8	オリンピック記念大会	東京都	JRA馬事公苑
	10/31 ~	全日本学生三大大会	〃	〃
	6/23	全日本選手権大会・ロードレース	大分県	オートポリス
	6/23	ジュニア全日本選手権大会・ロードレース	〃	〃
	6/30	全日本学生選手権大会・チームロードレース	秋田県	大湯村ソーラースポーツライン
	7/1	全日本学生個人競技大会・ロードタイムトライアル	〃	〃
	7/28 ~ 7/29	全日本競技選手権大会・トラックレース	福島県	泉崎国際サイクルスタジアム
	8/30 ~ 9/2	全日本大学対抗選手権大会	静岡県	日本サイクルスポーツセンター

# イベント情報

競技部	日付	大会名	場所	
自転車部	9/13～9/17	2006ツール・ド・北海道国際大会	北海道	道北・道央特設コース
	10/28	ジャパンカップサイクルロードレース	栃木県	特設コース
	11/3	全日本チーム対抗大会	静岡県	日本サイクルスポーツセンター
	11/11	ツール・ド・おきなわ大会	沖縄県	名護市特設コース
テニス部	9/1～9/9	全日本学生選手権大会	東京都	有明テニスの森公園
	9/13～9/26	関東大学リーグ戦	//	//
ソフトテニス部	6/21～6/24	全日本大学選抜王座決定戦	東京都	東京体育館
	6/30～7/1	東日本大学対抗大会	山形県	山形市スポーツセンターコート他
	7/2～7/3	東日本学生選手権大会	//	//
	7/4	東日本学生シングルス選手権大会	//	//
	7/14～7/15	東日本選手権大会	富山県	高岡スポーツコア
	8/6～8/7	全日本大学対抗選手権大会	長野県	浅間温泉庭球場
	8/8～8/10	三笠宮賜杯・全日本学生選手権大会	//	//
	8/11	全日本学生シングルス選手権大会	//	//
	9/8～9/9	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県	広島市中央テニスコート
	9/15～9/16	関東大学対抗競技大会	東京都	中央大学テニスコート他
	10/6～10/7	関東学生新進大会	//	//
	10/13～10/14	東都大学秋季リーグ戦	//	//
	10/19～10/21	全日本総合選手権大会	静岡県	浜松市テニスコート他
	10/27～10/28	関東学生秋季リーグ戦	千葉県	白子町サニーコート
	11/10	全日本東西対抗戦	大阪府	大阪体育館
	11/11	関東学生選抜インドア大会	神奈川県	横浜国際プール
	11/17～11/18	東都シングルス選手権大会	東京都	中央大学テニスコート他
	11/24～11/25	ジュニアジャパンカップ	宮崎県	生目の村運動公園テニスコート
	12/21	全日本学生選抜インドア選手権大会	東京都	東京体育館
	空手部	7/1	全日本学生選手権大会・東西対抗戦	東京都
8/19～8/20		和道全国大会	//	東京武道館
10/8		関東大学選手権大会	//	日本武道館
11/3		関東学生体重別選手権大会	神奈川県	慶應義塾大学・日吉校舎
11/23		全日本大学選手権大会	大阪府	大阪市中央体育館
自動車部	6/24	全関東学生ターゲットトライアル選手権大会	栃木県	丸和オートランド那須
	8/5	全日本学生ターゲットトライアル選手権大会	福岡県	三井オートスポーツランド
	8/26	全日本学生ジムカーナ選手権大会	三重県	鈴鹿サーキット
	8/27	全日本学生別チームマイナス6%エコドライブコンテスト	//	//
	11/25	全日本学生選手権大会	大阪府	近鉄自動車学校
準硬式野球部	10/25	関東学生軽自動車6時間耐久レース	長野県	スポーツランド信州
	8/18～8/23	全日本大学選手権大会	宮城県	フルキャストスタジアム宮城
	9月上旬～10月中旬	東都大学秋季リーグ戦	東京都	八王子市民球場
体操部	11月上旬～	関東地区大学・社会人王座決定戦	神奈川県	横須賀スタジアム
	9/13～9/17	全日本学生選手権大会	福岡県	北九州市立総合体育館
射撃部	10/26～10/28	全日本選手権大会	東京都	代々木第1体育館
	6/30～7/1	日本学生選抜選手権大会	埼玉県	長瀬総合射撃場
重量学部	9/6～9/9	秋季関東学生選手権大会	//	//
	7/7～7/8	東日本学生個人選手権大会	神奈川県	日本大学生物資源科学部体育館
	9/15～9/16	東日本大学対抗選手権大会	//	//
ボクシング部	12/23～12/24	全日本大学対抗選手権大会	//	横浜市磯子スポーツセンター
	5/12～7/14	関東大学リーグ戦	東京都	後楽園ホール

競技部	日付	大会名	場所	
バスケットボール部	9/8～10/21	関東大学リーグ戦	東京都	駒沢屋内球技場
	11/26～12/2	全日本学生選手権大会	//	代々木第2体育館
	9/1～	関東女子学生リーグ戦	埼玉県	さいたま市浦和駒場体育館他
レスリング部	8/21～8/24	全日本学生選手権大会	東京都	駒沢体育館
	11/8～11/9	全日本大学選手権	岐阜県	中津川市
	12/21～12/23	天皇杯・全日本選手権大会	東京都	代々木第2体育館
	7/14～7/15	関東スナイプ級選手権大会	神奈川県	江ノ島ヨットハーバー
ヨット部	8/4～8/5	関東470級選手権大会	//	//
	8/24～8/26	関東学生個人選手権大会	//	//
	8/24～8/26	全日本学生女子選手権大会	//	八景島シーパラダイスマリーナ
	8/31～9/2	全日本学生個人選手権大会	愛知県	蒲郡ヨットハーバー
	9/27～9/30	全日本スナイプ級選手権大会	未定	未定
	9/29～10/1	関東学生女子秋季選手権大会	神奈川県	森戸海岸
	10/19～10/22	関東学生秋季選手権大会	//	//
	10/31～11/5	全日本学生選手権大会	滋賀県	琵琶湖ヨットハーバー
	11/23～11/26	全日本470級選手権大会	神奈川県	江ノ島ヨットハーバー
	フェンシング部	6/17～6/23	東京都ジュニア選手権大会(サーブル)	東京都
7/14～7/16		東京都ジュニア選手権大会(エペ・フルール)	//	//
6/24		剛騎杯選手権大会	//	東京農業大学桜丘アリーナ
9/27～9/28		関東学生新人戦	//	駒沢公園屋内球技場
10/22～10/26		関東学生選手権大会	//	//
11/12～11/16		全日本大学対抗選手権大会	//	//
12/13～12/16		全日本選手権大会	大分県	日田市 未定
1/11～1/12		ジュニアオリンピックカップ大会	茨城県	水戸市青柳公園市民体育館
7/31～8/3		関東女子学生選手権	埼玉県	狭山ゴルフクラブ
7/31～8/3		関東学生選手権	千葉県	鷹之台カントリー倶楽部
ゴルフ部	8/21～8/24	日本学生選手権	兵庫県	北六甲カントリー倶楽部
	8/21～8/24	日本女子学生選手権	//	//
	9/19～9/20	関東大学秋季女子A・B・Cブロックリーグ戦	栃木県	那須ゴルフ倶楽部
	9/26～9/27	関東大学秋季A・B・Cブロックリーグ戦	埼玉県	こだまゴルフクラブ
	10/23～10/24	朝日杯争奪・日本女子学生ゴルフ選手権	千葉県	千葉カントリークラブ
	10/23～10/24	朝日杯争奪・日本学生ゴルフ選手権	//	//
	10/25～10/26	信夫杯争奪・日本大学対抗戦	//	//
	10/25～10/26	信夫杯争奪・日本女子大学対抗戦	//	//
	11/16～11/17	文部科学大臣杯争奪・日本学生王座決定戦	未定	未定
	バドミントン部	8/26～9/2	東日本学生選手権大会	宮城県
9/20～9/28		関東学生秋季リーグ戦	神奈川県	日本体育大学・健志大キャンパス
11/10～12/20		関東学生新人選手権大会	東京都	立川市柴崎市民体育館
10/20～10/25		全日本学生選手権大会	千葉県	千葉市
ハンドボール部	9/1～10/2	関東学生秋季リーグ戦	東京都	駒沢屋内球技場他
	11/17～12/2	関東学生管記念秋季ミニミニカップ	神奈川県	日本体育大学健志大体育館他
	11/10～11/14	全日本学生選手権大会	北海道	函館市体育館他
	12/20～12/24	全日本総合選手権大会	東京都	駒沢屋内球技場他
応援リーダー部	7/7～7/8	関東選手権大会	東京都	国立代々木競技場第2体育館
	8/31～9/2	ジャパンカップ2007 日本選手権大会	//	国立代々木競技場第1体育館
	12/1～12/2	全日本学生選手権大会	//	//

こんな  
校友も  
います

## 構造設計の視点で ユニークな家具づくり



日本一の家具の産地である静岡県を拠点に、ユニークな家具づくりを行っている野木村敦史さんは、建築の構造設計の専門家から家具職人に転身したという珍しい経歴の持ち主。

「構造設計には、素材の性質を活かし、建造物の機能とデザインが一体化した構造美を追求するというクリエイティブな可能性がります。でも大きな組織の中でその可能性を追求するのは難しい。クリエイティブを発揮する場が欲しくて、一から十まで自分の手づくりあげる家具の世界に入りました」。

7年間勤務した建設会社を退社後、職業訓練校で木工の技術を習得。静岡県の家具メーカーで5年間働き、昨年4月に独立した。構造技術者ならではの発想が活かされたシンプルで機能的な家具は、早くも同年の東京国際家具見本市で注目を集め、デンマークで開催された国際家具見本市にも出展されて、海外からも買い手がついたという。

デザイナーの家具という見た目優先のデザインを思い浮かべがちだが、野木村さんの作品はシンプルで使いやすい。それでいて独特の存在感がある。たとえば、タモ材を使ったイスは、座面に渡された板がパネの役割を果たし、腰かけた人の体重でほどよくたわむため、クッションなしでも座り心地がいい。「デザインありき、ではなく、素材の持つ可能性をカタチにするためのデザイン。そこからシンプルだけれど単純さを感じさせない構造美が生まれるのでは」と野木村さん。量産に対応できる家具の開発、建築家とのコラボレーションによる住宅づくりへの参加など、その活躍のフィールドはますます広がりそうだ。



家具デザイナー  
**野木村 敦史**さん  
(平成6年本学大学院理工学研究科海洋建築工学専攻修了)

昭和44年東京都生まれ。日大三高から本学理工学部へ。本学大学院理工学研究科海洋建築工学専攻修了後、建設会社に入社し、構造設計部門で7年間勤務。退社後、飯能技術専門学校木工科で木工の基礎を学び、静岡県の家具メーカーに入社。平成18年4月に独立。一級建築士。ノギムラカンパニー主宰。その作品は東京・青山のインテリアショップ、SEMPREIほかで扱われている。  
<http://www.geocities.jp/nogimuracompany/>

こんな  
校友も  
います

## 最古のクラブ野球に魅せられて



「函館オーシャンを追って」著者  
**小林 肇**さん  
(平成元年経済学部産業経営学科卒業)

(こぼやし はじめ) 昭和41年東京都生まれ。本学在学中は日本大学新聞社に所属、編集部長を務める。小学4年時に父親の昭さん(昭和38年理工学部工業化学科卒)と都市対抗野球を観戦したのをきっかけに社会人野球ファンとなる。その歴史を調べる過程で久慈次郎、函館大洋倶楽部を知り、函館オーシャンの「追っかけ」になった。共著に「加山雄三全仕事」(平成17年4月、ぴあ)がある。会社員。

日本最古の歴史を持つ社会人クラブ野球チーム、函館大洋倶楽部(愛称・函館オーシャン、明治40年創部)。その100年の軌跡をたどった『函館オーシャンを追って』が昨年12月に発刊され、話題を呼んでいる。30年来の社会人野球ファンである小林肇さんが書き上げ、同倶楽部の柳沢勝理事長が出版した。

オーシャンに関心を持った小林さんは15年かけて函館に100回以上足を運び、図書館で資料を調べ関係者に取材。伝説の名捕手・久慈次郎が活躍した第1期黄金時代や巨人軍を破るなど圧倒的強さを誇った第2期黄金時代、名優・益田喜頓さんが在籍したエピソードなど明治から現在までのチームの歩みを、関係者の談話を織り交ぜながら100枚超の写真とデータを使いまとめあげた。

「大ファンだった父の仏前に供えた」 「青春時代はオーシャンとともにありました」——。新聞で希望者へのプレゼントを告知したところ、オーシャンに対する熱い思いを綴った葉書や手紙が全国から多数寄せられた。「応募者の多くが70歳以上の方でした。皆さん、オーシャンに夢中になった世代です。先日お会いした85歳の方に、一緒に写真を撮ってほしいと頼まれた時は驚きましたね。それだけ本に感激して下さったようで、著者冥利に尽きます」。「オーシャンの歴史は奥が深く、まだまだ知られていない逸話がたくさんあります」と言う小林さんは、読者からの情報を基に追加調査・取材を続ける。しばらく「追っかけ」は終わりそうにない。



### 読者プレゼント

「函館オーシャンを追って」を10名にプレゼントします。事務局(33ページ参照)宛に、はがきで応募してください。裏面に住所、氏名、電話番号(携帯可)を記入して、8月31日(当日消印有効)までにお送りください。

まだまだ  
修業中

郷里の飯田は、私が自分らしく生きられる場所  
地元のために役立つ仕事をしていきたいですね



JAみなみ信州  
**木下 真由美**さん  
(平成15年国際関係学部国際関係学科卒業)

昭和55年長野県生まれ。地元の飯田高校から本学国際関係学部国際関係学科へ。在学中は学園祭の実行委員会で予算案作成や備品管理、スポンサー探しなどに奔走。3年在学時には女性初の実行委員長も務めた。卒業後、JAみなみ信州に入職し、総務企画部人事教育課に勤務。平成19年3月に同僚と結婚。今後は「仕事と家庭のバランスをとりながら、地域とのつながりも大切にしていきたい」という。



南アルプスと中央アルプスの中間に位置し、美しい水と空気に恵まれた長野県飯田市は農畜産物の宝庫。天竜川の清流に育まれた肥沃な土壌には、桃、ナシ、リンゴといった果物はもちろん、キュウリ、アスパラガス、トマトなどの野菜、シメジとエノキに代表されるキノコ類が豊かに実り、さらには信州随一の呼び声も高い和牛や豚、酪農品も。この地に生まれ育った木下真由美さんは、JAみなみ信州に入職して今年で4年目を迎える。

「この地域は、ちょうど本州のおへその部分に位置していて、生産物の南限と北限が交わる地点なんです。ですから、農産物なら何でもできるっていいくらい生産品目が多いんですよ。伝統的な特産品といえば下伊那の市田柿でしょうか。秋になると農家の軒先に干し柿がズラリと吊るされて、オレンジ色のすだれのように見えるんです。甘味が強くてやわらかく、これを食べるとほかの干し柿は食べられないという話もよく聞きます」。

本学在学中は国際関係学部在籍を置き、ゼミでは国際関係法を専攻した木下さんだが、学生時代から、卒業後は地元に戻って働きたいと考えていたという。

「国際関係学部に進んだのは、当時、地震などの災害報道をきっかけに NGO 活動のことを知り、国際協力について勉強したいと思ったからです。大学で学んだのは、国際協力といっても、ま

ず大切なのはそれぞれの地域だということ。生まれ故郷の飯田は、私が一番私らしく生きられる場所ですし、地域のために自分なりの貢献がしたいと思って JAみなみ信州に入りました。昔の同級生のお母さんから、『あなたが地元でがんばっているのは、私たちにとっても励みになるのよ』といわれたときは、本当に帰ってきてよかったと思いましたね」。

高齢化・過疎化など地方の抱える問題はいつでも同じ。JAみなみ信州でも、農業を育成し、地元住民の暮らしをサポートするためにさまざまな試みを行っている。

「若い人に地元の農産物を知っていただくためのイベントや、都会の方に農業を体験していただく農家民泊なども行っています。この仕事を始めるまでは、私も地元の農産物のことをあまり知らなかったのですが、イベントで無料のサラダバーをお手伝いしたとき、旬の野菜のおいしさに改めて感動しました。これからも、農業でがんばっている若い人たちを応援していきたいですね」。



# 校友会ニュース

## 校友会役員総会行われる

平成19年度の校友会役員総会が7月2日、東京ドームホテル(東京都文京区)で行われ、準会員(学生)への福利厚生事業や各種運営委員会の活動報告の後、18年度の収支決算、19年度の事業計画と収支予算などが審議されそれぞれ承認された。また、会則の一部改正についても審議され、すべて承認された。議事に引き続き、補助費交付式も行われた。事業計画、新規加盟団体、平成18年度収支決算書、平成19年度収支予算書は以下のとおり。

### ●平成19年度事業計画について

- 1 委員会、各支部総会開催計画
- 2 正会員事業計画
  - ①校友会館設立のための資金積立(校友会会則第3条第1号「校友会館設置事業」)
  - ②校友子女入試の推進(校友会会則第3条第5号「日本大学学生等の募集支援事業」)
  - ③全国校友大会の開催(校友会会則第3条第6号「会員の福利厚生に関する事業」)
  - ④箱根駅伝の振興と推進(校友会会則第3条第10号「体育活動助成事業」)
  - ⑤その他必要とする事業(校友会会則第3条第12号「その他の必要事業」)
- 3 準会員事業計画
  - ①スポーツ優勝者表彰(校友会会則第3条第10号「体育活動助成事業」)
  - ②スポーツに対する奨励金交付(校友会会則第3条第10号「体育活動助成事業」)
  - ③全学文化事業(NU祭)支援(校友会会則第3条第10号「文化活動助成事業」)
  - ④校友会(準会員)の診療費助成(校友会会則第3条第11号「福利厚生事業」)
  - ⑤校友会独自の奨学金(校友会会則第3条第12号「準会員に対する奨学事業」)
  - ⑥校友子女入試の充実に伴う特別優待生制度の拡大(校友会会則第3条第12号「その他の必要事業」)
  - ⑦その他必要とする事業(校友会会則第3条第12号「その他の必要事業」)

以上

### ●校友会新規加盟団体について (平成18年度役員総会以後)

(株)ライクス桜門会  
新菱桜門会  
ニッタン桜門会  
以上3団体

### ●校友会活動資金としての 寄付報告

中島正美さん(昭和52年商学部商業学科卒業)、堀口その美さん(平成7年法学部法律学科卒業)から、「校友会活動資金として役立ててほしい」との主旨で寄付がありました。ありがとうございました。



## 平成18年度 正会員事業費収支決算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	増減	備考
会費収入	64,000,000	55,954,000	8,046,000	
その他の収入	13,960,000	12,220,083	1,739,917	
校友大会会費収入	8,750,000	6,740,000	2,010,000	
貸付金返済収入	5,000,000	5,000,000	0	
雑収入	210,000	480,083	△270,083	
当年度収入合計	77,960,000	68,174,083	9,785,917	
前年度繰越金	20,287,652	20,287,652	0	
計	98,247,652	88,461,735	9,785,917	

支出の部				
科目	予算額	決算額	増減	備考
補助費支出	17,600,000	14,543,200	3,056,800	
補助費支出	8,000,000	7,843,200	156,800	
特別補助費支出	9,600,000	6,700,000	2,900,000	
事業費支出	35,860,000	29,289,226	6,570,774	
印刷製本費支出	16,110,000	13,232,184	2,877,816	
手数料報酬支出	160,000	179,476	△19,476	
通信運搬費支出	5,940,000	7,064,282	△1,124,282	
業務委託費支出	2,000,000	1,578,406	421,594	
校友大会開催費支出	10,750,000	6,646,738	4,103,262	
旅費交通費支出	240,000	0	240,000	
雑費支出	520,000	588,140	△68,140	
組織拡充費支出	140,000	0	140,000	
校友会館建設積立金	35,000,000	40,000,000	△5,000,000	
予備費支出	4,000,000	0	4,000,000	
その他の支出	0	0	0	
当年度支出合計	92,460,000	83,832,426	8,627,574	
次年度繰越金	5,787,652	4,629,309	1,158,343	
計	98,247,652	88,461,735	9,785,917	

## 平成19年度 正会員事業費収支予算書

(単位:円)

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会費収入	70,000,000	64,000,000	6,000,000	@10,000×7,000名
受取利息収入	680,000	0	680,000	
その他の収入	12,380,000	13,960,000	△1,580,000	
校友大会会費収入	6,250,000	8,750,000	△2,500,000	@10,000×600名,祝金
貸付金返済収入	6,000,000	5,000,000	1,000,000	理工学部校友会
雑収入	130,000	210,000	△80,000	
当年度収入合計	83,060,000	77,960,000	5,100,000	
前年度繰越金	5,787,652	20,287,652	△14,500,000	
計	88,847,652	98,247,652	△9,400,000	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
補助費支出	16,800,000	17,600,000	△800,000	
補助費支出	8,400,000	8,000,000	400,000	@2,400×3,500名
特別補助費支出	8,400,000	9,600,000	△1,200,000	
事業費支出	37,670,000	35,860,000	1,810,000	
印刷製本費支出	19,740,000	16,110,000	3,630,000	
手数料報酬支出	530,000	160,000	370,000	
通信運搬費支出	8,290,000	5,940,000	2,350,000	
業務委託費支出	2,100,000	2,000,000	100,000	
校友大会開催費支出	6,250,000	10,750,000	△4,500,000	
旅費交通費支出	660,000	240,000	420,000	
雑費支出	100,000	520,000	△420,000	
組織拡充費支出	0	140,000	△140,000	
校友会館建設積立金	25,000,000	35,000,000	△10,000,000	
予備費支出	4,000,000	4,000,000	0	
その他の支出	0	0	0	
当年度支出合計	83,470,000	92,460,000	△8,990,000	
次年度繰越金	5,377,652	5,787,652	△410,000	
計	88,847,652	98,247,652	△9,400,000	

※小科目内において流用することができる。

## さとうぶどう

[所在地] 山梨県山梨市牧丘町西保下1984  
TEL/FAX 0553-35-2569  
http://www4.plala.or.jp/satobudo/

### 読者への特典

ご注文の際、「桜縁11号を見た」と伝えていただければ商品代金から20%割引

### 味と安全にこだわった最高の巨峰をめざして

フルーツ王国山梨の巨峰のトップブランド、牧丘地区で栽培・販売をしているのが、さとうぶどうだ。澄んだ空気と緑の中に広がる畑で栽培されているのは、種ありの巨峰。最近の主流は種なしだが「実は種なしを作っている農家でも、味は種ありの方が上って言っているんですよ。食の安全という点からも、薬品に浸けて種をなくす必要がないので、種ありにこだわっているんです」と佐藤浩史さん。おじい様から農園を継ぎ、主力となってぶどう栽培に取り組んでいる。近隣農家と連携をとりながら農薬散布にも細心の注意を払い、除草剤も一切使わずに、その分手間をかけて作られる巨峰の味は格別だ。例年、食べ頃は9月のお彼岸くらいまでだが、天候によっては10月の初旬まで糖度が増した味を楽しめる。



専業で巨峰作りに取り組んでいる佐藤浩史さんは平成10年本学商学部経営学科卒業。地元銀行や東京のケーブルテレビ会社勤務を経て、サークルの先輩の誘いを受けて農業の道に。

まだ緑のぶどうの房。下の部分を1/4くらい残して剪定し、形を整えながら成長させていく。



粒揃いの巨峰は、始めはさっぱりした味で、10月に近づくほど糖度がアップ。好みの味を伝えて発送時期を相談したい。観光農園ではないが来園は大歓迎。「日大の卒業生」と言えば自分で収穫もできるので、気軽に電話を。

## 杏カフェ&ダイニング

[所在地] 東京都世田谷区桜新町1-25-23 大場ビル1階  
TEL/FAX 03-3705-8885

### 読者への特典

お食事の方には有機栽培のコーヒーか紅茶をサービス

### 「杏」がテーマのオーガニックカフェ

東京・世田谷区の桜新町駅から徒歩3分。去る6月、長谷川町子記念館へと続く「サザエさん商店街」にオープンした「杏カフェ&ダイニング」は、芸術学部放送学科OGの金澤夏代さんが、調理師免許を持つご主人とともに始めたお店。「4年ほど前、体調を崩したことをきっかけに、有機栽培の野菜や無添加の食材を選ぶようにしたんです。体調もよくなったんですが、何よりもその美味しさに惚れ込みました」と金澤さん。信州で食べて感動し、わざわざ取り寄せたという杏の砂糖漬けをはじめ、調味料や加工品もすべてオーガニック。野菜たっぷりのヘルシーな「桜かご弁当」(緑茶付・1200円)や「ハヤシライスふんわり卵のせ」(980円)などのほか、「あんずのあんみつ」(700円)もおすすめ。



「自分が食べて安全で美味しいと思ったものをお客様にも食べていただきたいんです」と金澤さん。



早くも人気を集めている「あんずのあんみつ」。ゴロリと大きな杏の砂糖漬けが絶品!



白を基調とする店内。店づくりのテーマはユミンの名曲「やさしさに包まれたなら」。



(東京都新宿区山吹町361  
南雲堂 1,429円 税別)

## 『矢よ優しく飛べ』

秋山 正幸著(昭和27年文学部英文学科卒業、  
本学名誉教授、前本学常務理事)

幼いころの衝撃的な事故がトラウマとなり、その苦しみに耐えて力強く果敢に生きようとした青年・山村春男。昭和19年、宇都宮の軍需工場と一緒に勤労奉仕をするようになった女子勤労挺身隊員の佐藤直子。その後、春男と結ばれようとしていた矢先に、彼女は急逝してしまうが、生前、直子は春男に弓道に精進することを勧めていた。「弓道」で品性を磨き、さまざまな苦難に直面しながらも、次第に人間として成長していく過程を描いた自伝的小説。

日米比較文化・文学が専門で、これまで学術書などは十数冊出版しているが、小説の執筆は初めてという著者。戦中戦後の激動の時代を背景とした青春小説で、構想20年という力作。「北関東の山河を背景とした物語。全国の校友に読んでもらいたい」。

## Book Review 書籍紹介



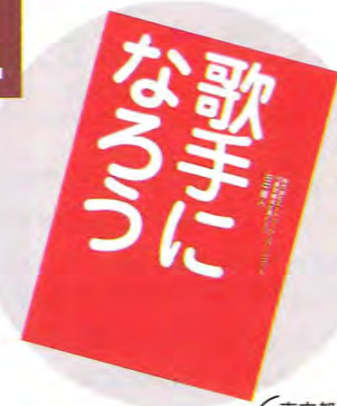
(東京都港区南青山2-22-17  
新風舎 850円 税別)

## 『ひとひらの慧慈-照子 その愛』

榎本 敏夫著(昭和32年経済学部経済学科卒業)

自分を生み育ててくれた母「照子」と、大恋愛の末結ばれた妻「照子」。本書は、かけがえのないふたりの照子と共に歩んだ日々を噛み締めるように綴る、家族への深い愛情に満ちた、ひだまりのように温かいエッセイである。

本学を卒業し、30年間のサラリーマン生活を経て、経営コンサルタントとして独立した著者。「激動の昭和の時の流れが、ある意味で歴史的にも大切かと思ひ多くを記しました。内容が粗筋(ダイジェスト)になってしまいましたが、裏に隠れた情景を想像しながら、こういう人生もあるのだと、読んでもらえればと思います」。巻末に、ショートエッセイ「新盆のとき」「多摩川を歩く」の収録あり。



(東京都渋谷区桜丘町8-27  
ヤマハミュージックメディア  
1,300円 税別)

## 『歌手になろう』

田中 直人著(平成9年芸術学部音楽学科卒業)

「歌手になりたい!」そんな夢を持っている方には、おすすめの1冊。こどもでも大人でも、小学生でもおじいちゃんおばあちゃんでも、歌手になりたいすべての人の夢をかなえるためのハウツー本。夢のを見つけ方から、楽しい生活の送り方、具体的な発声の仕方や歌唱法、CDの発売から売り込みに至るまでを、10章に分けて詳細に紹介している。著者は、10年以上アマチュアミュージシャンをプロの歌手へと育て上げてきた、エートゥーナンバーレコードの代表。「音楽って本当に楽しいんです!」と言い切る著者の言葉に耳を傾けて、これでみんな歌手になりましょう!これまでにありそうでなかった!? 日本を元気にする、音楽の夢がかなう本。





自主創造  
日本大学

あなたとともに  
100万人の仲間とともに

## 本学のロゴマークなど決まる 新理念は「自主創造」

本学の新しい教育理念を「自主創造」とするとともに、新たに本学のアルファベットの頭文字「N」をデザインしたロゴマークとキャッチフレーズ「あなたとともに 100万人の仲間とともに」を決め、6月1日の理事会に報告、了承された。いずれも、企画検討委員会(委員長・高田邦道副理事長)が1月に提出したイメージ戦略についての答申に基づくものだ。

ロゴマークは野田慶人芸術学部長の発案を同学部の木村政司教授がデザインしたもので、現在、商標登録を申請中。今後、全学的に広く使用を求め、本学の新しいイメージを内外にアピールしていく方針だ。

「自主創造」を新理念としたのは、本学の「目的および使命」の中にうたわれているほか、①成熟段階を迎えた現代の日本には自主創造の気風に満ちた若者・人材の育成が強く求められている、②グローバル化に対応できる人材に求められるのも自主創造である一などの理由による。

ロゴマークは、スクールカラーの緋色(DIC157番)を基調とした「N」を力強さと躍動感のある書体で表現。右横に配した丸印は「日本精神」「日本の伝統・文化」「個の尊重」などを意味し、国旗「日の丸」も意識している。

「あなたとともに…」のキャッチフレーズは、100万人に上る本学の学生・校友の絆、連帯意識を込めた表現で、他大にはない本学の特色を打ち出した。

大学では、各学部が独自に定めているロゴマークやキャッチフレーズとともに、工夫をしながら積極的に使用してほしいと呼びかけている。

ロゴマークなどの具体的な使用例として、封筒、便箋などの事務用品から、学生証や教職員証、広報誌、広告、ガイドブック、セミナーやスポーツ大会の看板、のぼり、ユニホーム、うちわ、その他日大グッズなどを挙げている。近く、既存の封筒や名刺に貼るロゴマークのシールを、各部科校に配布する考えだ。

### 戦前、多数の法曹を輩出した「山岡研究室」 その伝説の黒板が寄贈されました

第3代総長山岡萬之助は、本学の教育を充実させるため、各界の第一線で活躍する優れた人材を招聘しました。特に、法学分野においては、気鋭の司法官僚や現職の裁判所の判事・検事等も招かれて授業を行いました。

一方、判事検事登用試験・弁護士試験(現司法試験の前身)の受験者を指導するため、大正3(1914)年には、日本大学研究室(通称山岡研究室)を開設しました。毎年、この研究室出身の受験者の約80%が試験に合格しました。戦前、本学から巣立った法曹の多くが、山岡研究室の黒板で学びました。

このたびその黒板が山岡記念文化財団から本学に寄贈され、現在、日本大学会館2階・資料館設置準備室前に展示してあります。お近くにお越しの際は、どうぞご覧ください。



### ○インフォメーション

◎本誌への情報提供、ご意見、お問い合わせは…  
この会報は1人でも多くの校友の皆さんを紹介し、校友の皆さん同士のコミュニケーション(縁)を深めていただきたいと思います。お店やお宿を経営している校友に限らず、ユニークな先輩や後輩がいるとか、自分を紹介してほしいなど、自薦他薦を問いませんので、事務局までお知らせください。

◎住所・勤務先が変わったら…  
住所、勤務先等に変更がございましたら、必ず事務局までお知らせください。  
電話、FAX、メールいずれの方法でも結構です。

◎会員証を紛失されたら…  
会員証を紛失された際は事務局までご連絡ください。再発行させていただきます。

◎新規会員を紹介したい…  
新規会員をご紹介くださる方は、事務局までご連絡ください。資料を送付させていただきます。

- 1 封筒、ハガキで  
〒102-8275  
東京都千代田区九段南4-8-24  
日本大学校友会本部事務局校友課「桜縁」係
- 2 電話、ファクシミリで  
TEL. 03 (5275) 9300  
FAX. 03 (5275) 8330
- 3 電子メールで  
E-mail: koyu@nihon-u.ac.jp

### 編集後記

広報委員会委員長・久保 進

これまで、本学に勤務する教員の研究活動については、原稿を書いてもらったり、取材した記事を掲載したり、かなり取り上げてきました。しかし、本学を卒業し、母校以外の大学で教育・研究活動をされている卒業生をあまり取り上げることがありませんでしたので、今回の特集テーマとしました。北は道都大学の櫻井総長から南は沖縄大学の吉川先生まで、全国4人の大学教員を紹介しました。もちろん、他にも多くの卒業生が、いろいろな大学を中心とした教育・研究機関でご活躍のことと思います。先生方の御活躍を願っています。

桜縁 No.11/2007.7 発行 編集・発行 日本大学校友会  
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24  
TEL. 03 (5275) 9300 FAX. 03 (5275) 8330

### 広報委員会

委員長:久保 進 副委員長:新井 謙寿  
委員:内田 章 中村 克夫 石 光 園田 芳生 萩原 正芳 横須賀 靖  
石澤 恒男 呉屋 正盛 中島 正博 野澤 達也 鈴木 彰一

あなたと大学の架け橋になります

# 日本大学新聞

「日本大学新聞」は1921年に創刊され、今年で86周年を迎えます。各学部の最新ニュースや、スポーツ・サークル活動、特集や連載企画が満載。学部、校友や付属校をつなぐ「日大新聞」をぜひご愛読ください。

購読料 2年間通読／4,000円 月1回発行 (送料込み)



日本大学新聞

## 縮刷版

4年間の大学の動きがひとめで分かる (平成15年4月～19年1月)

1冊／2,000円 (送料込み)

## 日大スポーツ'06

グラフ&ストーリー



### 巻頭特集 ツインエース 最後の箱根

手に汗握る  
あの感動の一瞬、  
心に残すこの1冊!!

1冊／500円 (送料込み)

## 日大文芸賞

小説、評論、エッセー等未発表のものに限ります。

文芸賞＝1編 (副賞 30万円)

優秀賞＝1編 (同 10万円)

佳作＝3編 (同 5万円)

- 資格 本学生、教職員、校友
- 締め切り 平成20年3月31日 (当日消印有効)
- 枚数 50枚以内 (400字詰め原稿用紙) ワープロの場合は、マスの目のないA4版用紙に縦20×横20行で縦書きに印字したもの
- 記入事項 氏名、住所、電話番号、性別、年齢、学部・学科・学年 (職業)

お申し込み・お問い合わせ先

## 日本大学新聞社

E-mail : nup.info.news@nihon-u.ac.jp

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 TEL : 03-5275-8144 FAX : 03-5275-8331

# 日大病院のご案内



## 板橋病院

所在地/〒173-8610  
 東京都板橋区大谷口上町30-1  
 TEL (03) 3972-8111 (代)  
 担当/庶務課  
<http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/itabashi/>  
 開設年/昭和10年  
 病院長/澤 充  
 診療科目/ 34 診療科  
 その他専門外来多数あり(助産師外来他)  
 病床数/ 1,037 床  
 教職員数/ 1,290 名  
 看護配置/一般病棟実質配置10:1  
 特殊施設/救命救急センター、  
 総合周産期母子医療センター



## 駿河台病院

所在地/〒101-8309  
 東京都千代田区神田駿河台1-8-13  
 TEL (03) 3293-1711 (代)  
 担当/庶務課  
<http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/surugadai/>  
 開設年/大正15年  
 病院長/小川 節郎  
 診療科目/ 19 診療科  
 病床数/ 409 床  
 教職員数/ 750 名  
 看護配置/一般病棟実質配置7:1



## 練馬光が丘病院

所在地/〒179-0072  
 東京都練馬区光が丘2-11-11  
 TEL (03) 3979-2488 (直)  
 担当/庶務課  
<http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/hikari/>  
 開設年/平成3年  
 病院長/高橋 滋  
 診療科目/ 17 診療科  
 病床数/ 344 床  
 教職員数/ 600 名  
 看護配置/一般病棟実質配置7:1

## 看護師募集 待遇と勤務 (3 病院共通)

- ◆募集職種/看護師、保健師、助産師、パート看護師 (パートに関しては別途お問い合わせ下さい)
- ◆応募資格/有資格者および平成20年3月に卒業予定の方
- ◆応募方法/有資格者:履歴書(写真貼付)、免許証の写し  
卒業予定者:履歴書(写真貼付)、成績証明書
- ◆選考方法/書類選考、面接等
- ◆昇給賞与/年1回(4月)/年3回(平成18年度実績:6.58ヶ月+38,500円)
- ◆勤務体制/変則2交替制(一部を除く)
- ◆諸手当/住宅手当、家族手当、通勤手当、病棟勤務手当、時間外手当、夜間勤務手当
- ◆休日休暇/4週6休制、日曜、祝日、日本大学創立記念日(10月4日)、開院記念日(6月1日)、年末年始、夏期休暇等、年間休日計116日(平成18年度、交代制勤務者)、

その他慶弔休暇等あり

- ◆退職金制度/有、勤続1年以上の場合支給
- ◆保険制度/健康保険、共済年金、雇用保険、労災保険
- ◆看護師寮/ワンルームタイプ 月額25,000円 冷暖房完備 バス、トイレ付
- ◆交通案内/  
 <板橋病院>JR『池袋』駅よりバス約17分『日大病院前』下車、または東武東上線『大  
 山』駅より徒歩約12分  
 <駿河台病院>JR中央線『御茶ノ水』駅徒歩3分、東京メトロ丸の内線『御茶ノ水』駅徒歩  
 3分、東京メトロ千代田線『新御茶ノ水』駅徒歩3分  
 <練馬光が丘病院>都営地下鉄大江戸線『光が丘』駅下車、A-2出口徒歩5分、東武東  
 上線『成増』駅および東京メトロ有楽町線『地下鉄成増駅』より西武バス『日大病院』ま  
 たは『光が丘駅』行きにて『旭町南地区区民館』降車、徒歩5分  
 ※詳細は病院のホームページをご覧ください